# 令和3年度 横浜市泉区社会福祉協議会 事業方針

公的なサービスの量的な拡大と質的な発展により、社会福祉の分野では、生活支援、高齢者介護、障害福祉、児童福祉など専門的支援が提供されています。

その一方で、引きこもり、孤立死、虐待、貧困など、目につきにくい課題を抱える個人や世帯が増えています。急速な少子高齢化は、あらゆる分野で地域社会の担い手を減少させ、地域のつながりや支え合う力も低下している現状があります。

こうした複合・複雑化したニーズに対応するため、本会の役割として、地域全体が抱える課題や個々に感じる生活のしづらさや困りごとなど、制度の狭間にある課題に目を向け、かつ住民同士の「地域のつながりと支えあい」を基本とした活動を、もっと広げていくことにあります。

これらの活動を進めるには、本会の会員である様々な組織や団体が連携・協働し、それぞれが持つ機能・役割を活かして、支援体制を構築する必要があります。

いま、新型コロナウィルス感染症の影響により、日常的に繰り返し行われていた地域活動が停滞し、これまで普通に行われてきた方法では立ち行かなくなっています。住民にとって一番身近な地区社協においても、安全に継続的に交流や通いの場づくりが進められるように、様々な工夫を凝らして、意識と目標を一つにして取組むことが求められています。

今年は、互いに助け合い誰もが安心して暮らせるまちづくりを目標に掲げた「第4期泉区地域福祉保健計画」推進の初年度にあたります。「地域共生社会」の実現に向け、推進の柱に沿った取組を進めます。また、「地域包括ケア」の取組との連携を視野に「泉区アクションプラン」とも一体的に推進していきます。

以上のことをふまえ、第4期泉区地域福祉保健計画(素案)の重点項目に基づいて、本 会の重点取組を設定します。

#### 【重点取組】

#### 1 自分らしく生きるための支援

- 高齢者や障がい者のための権利擁護や成年後見制度の利用促進 援助を必要とする者が、地域の中で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用 援助、成年後見制度への移行や市民後見人との連携など、必要な人にサービスが届くよ う、あんしんセンター事業を進めます。
- サポートが必要な障がい者の移動ニーズに応えるため、ガイドボランティア等の人 材発掘や育成に取組みます。また、障がい理解や災害時支援を進めるため、当事者発 の出前講座を実施します。

## 2 元気でいるための支援

介護予防・健康づくり活動の立ち上げや活動を支援するため、「ふれあい助成金」の活用を進めます。

# 3 地域の安全をみんなで考える

泉区災害ボランティア連絡会との連携により、運営マニュアルに基づいた災害ボランティアセンターの運営体制づくりを具体的に進めます。また、泉区役所や地域防災拠点との連携を強化するとともに、区民の災害に備えた活動への参加を促進します。

# 4 相談しやすい仕組みづくり

区社協が持っている様々な相談窓口(VC, AC, 移動, 生福, 地域支援)を通じて、その機能を活かし、専門機関につなぐなど「断らない相談支援」をめざします。また、日常的・継続的な支援につなぐため、身近な地域とも連携し「地域共生社会」を実現します。コロナ禍を背景とした生活困窮やひとり親家庭など、新たな生活課題への対応を充実させます。

# 5 困りごとを支援につなげることができる人を増やす

「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を目的に、そこに関わる様々な人 材や組織を支援します。

# 6 一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える

- ○住民同士の支え合い活動の創出・継続・発展に向けた支援を行います。
- ○地域の中で「交流・居場所」「生活支援」「見守り・つながり」が満たされるように、 具体的なサービス創出や地域の支えあいの仕組みづくりとして生活支援体制整備事業を推 進します。
  - ○地域活動や相談から得られる生活課題をテーマに研修を開催します。
- ○各地域での身近な支えあいの関係を築いていくために、地区社協が施設や団体との連携が深められるよう支援に努めます。また、定期的に行っている地区社協分科会では、共通する課題の検討や研修会を企画します。
- ○現在、区内社会福祉法人や企業との連携のもとに進めている「泉サポートネットプロジェクト」の取組を継続し、更に広げていきます。また、同時に地域ケアプラザエリアごとの特色ある活動にも反映するよう働きかけます。

# 7 担い手と参加する人を増やす

- ○区ボランティアセンターでは、登録者に限定しないで、地域、学校、企業等に視野を 向けて迅速な相談・調整に努め、地域の福祉活動の担い手の発掘や育成を進めます。
  - ○担い手として気軽に活動を始められる各種ボランティア講座を開催します。

#### 8 つながる機会を作る

- ○幅広い世代が気軽に取り組める地域活動の立ち上げを支援します。
- ○子どもたちの育ちを支援するため、福祉教育やサマースクール(福祉体験学習)を充

実します。また、企業や住民からの食支援の受け入れや地区社協や地域の福祉保健団体等と連携により子ども食堂等の居場所の拡充に努めます。

# 9 事業推進に向けた組織運営の充実・基盤強化をはかる

区社協の取組を積極的に周知するとともに「組織全体のガバナンス強化」「事業の透明性確保」「財務規律の強化」「人材育成」を進め、区民の期待や信頼に応えます。

# ■ 事業計画

この事業計画は、前述の事業方針と重点取組に基づいて、第4期泉区地域福祉保健計画推進の柱及び重点項目にも連動した形で策定しています。

また、主な事業の予算額を表示(3年度予算額[2年度予算額])しています。

# 1 いつまでも健やかに暮らせる地域づくりを支援する

# 重点項目1-1 自分らしく生きるための支援を進める

# 《個人の権利と尊厳を守るための仕組みづくり》

(1)認知症に対する正しい理解と見守り活動の推進

認知症になっても安心して自分らしく暮らせることができる地域の実現を目指し、認知症の正しい理解を広げ、支援する担い手を増やします。

#### 【取組事項】

- ① 区、地区社協、地域ケアプラザ等と協力し、地域や企業等への認知症を理解するため の講座等の開催支援
- ② 「泉区認知症キャラバンメイト連絡会」への参画と協力支援
- ③ 認知症カフェ・介護者の会等の活動継続支援及び必要な居場所づくりを進めます。

# (2) 権利擁護事業(あんしんセンター)

350 千円 [363 千円]

高齢者や障がい者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう相談・契約によるサービスを行います。また、判断能力の低下に伴い成年後見人に速やかに移行できるよう区や地域包括支援センターと泉区成年後見サポートネットや社会福祉士連絡会の場を利用して連携を図ります。また、市民後見サポートネットを開催し横浜市市民後見人バンク登録者(泉区登録者)との連携を進めます。

<u> </u>					
	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 見込	
権利擁護事業契約件数(件)	47	49	50	55	
当年度契約数(件)	11	12	10	10	

評価指標 権利擁護事業新規契約件数:增加

権利擁護事業から成年後見への移行:増加

成年後見に関する相談件数:継続

(3) 送迎サービス事業(移送サービス・外出支援サービス 2,938千円[3,749千円] 外出が困難な在宅の高齢者・難病患者に対し、通院、福祉施設、行政等での手続きな どの際の送迎支援を行います。なお、他の送迎サービス事業の状況等も踏まえ、引き続 き本事業における社協の役割の見直しを進めます。

	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 見込
送迎サービス事業利用件数(件)	1, 044	877	270	400
登録者数(人)	261	105	97	100

#### 《サポートが必要な方々の理解と支援の推進》

## (1)移動情報センター事業

8,952 千円 [9,179 千円]

障がい児者の通学通所や通院、余暇活動等外出機会の移動手段に関する情報収集・発信、相談調整、人材発掘・育成を行います。

	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 見込
ガイドボランティア登録件数 (件)	25	30	35	40

# 【取組事項】

- ① 推進会議の開催
- ② 区内ガイドヘルパー事業所へのアンケート調査の実施
- ③ オンライン等を活用したガイドボランティア講座の開催及びボランティアの確保・養成
  - ア 区ボランティアセンターや関連機関等と連携し、ニーズのあるエリアを重点にガイドボランティアを拡充します。また、登録者や関心のある方を対象に、オンラインの活用等講座を工夫して開催します。
- イ 地区担当職員と連携し、地域で暮らす障がいのある人の困りごとに寄り添う地域づくりを進めます。
- ウガイドボランティア交流会を通じフォローアップします。
- ④自治会町内会、地区社協、泉区障害福祉自立支援協議会、関係団体への事業の PR 活動

評価指標 ガイドボランティア登録者数:増加

障がい理解・担い手育成のためのボランティア講座実施回数・参加者数:増加 (出前講座含む)

# (2) サポートが必要な人への理解の推進

310千円「20千円]

## 【取組事項】

- ① 泉区福祉の作品展を開催し、その周知と障がい者への理解・啓発の推進
- ② 障がい理解・啓発を目的に、区内施設等の利用者やその家族、職員と協力し、セイフティーネットプロジェクト横浜出前講座を実施
- ③ その他

障害者地域作業所等通所者の社会参加を促進するため、広報紙の一部配付業務を障害者地域作業所等へ委託します。また、地域にある障害者地域作業所等の取組が区民に広く伝わるよう、ホームページの活用など啓発にかかわる支援を行います。

# 重点項目1-2 元気でいるための支援を充実させる

#### 《介護予防・健康づくりの推進》

(1) それぞれの年代に応じた健康づくり

いつまでも健康な生活をおくることができるよう、健康づくりの取組を進めます。

# 【取組事項】

- ① 地区社協など地域で行われる高齢者食事会、サロンやウォーキング事業等への支援
- ② ふれあい助成金 (健康増進区分) を活用して町内会やボランティアグループ等が実施する健康づくり・介護予防活動を支援
- ③ 区内高齢者食事会や子ども食堂等の「食事サービス団体連絡会」(仮称)の実施
- ④ 区内外の健康づくり関係の情報を発信します。

評価指標 ふれあい助成金(健康増進区分)による活動団体数:増加

# 重点項目1-3 地域の安全をみんなで考える

#### 《安心・安全に暮らせる環境の整備と推進》

(1) 泉区災害ボランティアセンターの機能強化

80 千円 [80 千円]

泉区災害ボランティア連絡会や関係機関等との協力体制を構築し、災害時に備えたネットワークづくりと啓発活動に取組みます。

#### 【取組事項】

- ① 泉区災害ボランティア連絡会の運営・活動支援
  - ア 災害ボランティアセンター開設運営に関するシミュレーション訓練及び区社協職 員合同訓練の実施
  - イ 連絡会の役割や機能の明確化
  - ウ 会員の拡充
- ② 新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮したマニュアル等の整備
- ③ 各種イベントや区民ホール等での展示会でセンターの機能や防災減災に関する啓発 活動への取組
- ④ ブロック別災害ボランティアセンターネットワーク連絡会への参加
- ⑤ 区役所や地域防災拠点など関係機関との連携強化
- ⑥ 備蓄品や資機材の整備

# 2 人やさまざまな活動でのつながりや交流が進む地域づくりを支援する

# 2-1相談しやすい仕組みを整える

## 《断らない相談支援の推進》

区社協では、事業ごとに相談窓口を設置しています。それぞれの役割・機能を活かし、 地域の様々な相談を受け止めます。内容によっては、区社協内の相談窓口と連携し、他 の専門機関につなぐなど一体的な対応をします。

継続的なかかわりが必要な場合は、身近な地域とも連携し、新たな生活課題への対応を含め「地域共生社会」の実現を目指します。

また、ホームページ、リーフレットや掲示板等で、相談対応内容など情報提供を行っていきます。

#### 本会の相談窓口

- ・泉区ボランティアセンター
- ・泉区社協あんしんセンター
- ・泉区移動情報センター
- 生活福祉資金貸付相談
- 善意銀行寄付相談
- 泉区福祉保健活動拠点利用相談
- ・その他 地域福祉活動全般に関する相談

# 重点項目2-2 困りごとを支援につなぐことができる人を増やす

# 《支援者のスキルアップ・対応力向上》

(1) 地区社会福祉協議会(地区社協)活動の支援

7,500千円 [7,670千円]

身近な地域のつながり・支えあい推進事業を進めるなか、地区社協のてびきに基づき、 地区社協の目的である「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を推進できる よう支援します。「新しい生活様式」を取り入れた地域活動の実践例を紹介する等の活動支援を行います。

#### 【取組事項】

- ア 地区社協分科会の定例開催(隔月開催)
- イ 地区社協(区域)研修の開催、地区研修の開催支援
- ウ 地域アセスメント、地区診断の実施
- エ 第4期泉区地域福祉保健計画地区別計画に連動した地区社協活動の推進
- オ 地区社協状況書作成支援から地区社協の活動を把握し対外的に発信
- カ 区社協賛助会費への理解促進
- キ 地区社協活動の広報活動
- ク 地区社協活動費の交付
- ケ 地区社協検討会(市社協主催)の内容から市域情報の発信、情報共有と検討
- コ チャリティーコンサート (共催:区社協・12 地区社協・区役所) 開催 参加人数制限を補うための実施方法の検討

### (2) 民生委員・児童委員の活動支援

地域の身近な相談役である民生委員・児童委員、主任児童委員が抱える個別課題に対して、様々なネットワークを通して活動を支援します。

## (3) 生活困窮者自立支援施策への対応

3,153 千円 [3,151 千円]

生活困窮者自立支援法において、生活福祉資金貸付事業や総合相談、区役所生活支援課との連携を通して支援に取組みます。特に、新型コロナウイルスの影響により生活に困窮した世帯を対象とした総合支援資金特例貸付(延長貸付)に関する相談・申込に対しては、引き続き支援に取組みます。また、民生委員・児童委員のフォローをし、密接なやりとりをしていきます。

① 生活福祉資金貸付事業相談

貸付の種類 総合支援資金、臨時特例つなぎ資金、緊急小口資金、福祉資金(教育支援 資金等)、不動産担保型生活資金、総合支援資金特例貸付(貸付延長)、そ の他

#### ② 食糧支援

生活困窮者や緊急的に食糧支援が必要な方に対しては、区と共有し、セブンイレブンやフードバンクかながわ等と連携して自立に向けた支援をします。

# 重点項目2-3 一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える

# 《地域課題の抽出と課題解決に向けた取り組みの検討》

# (1)身近な地域のつながり・支えあい推進事業

190 千円[190 千円]

様々な生活課題を抱えている地域住民に寄り添い、地域活動者・福祉保健関係者や多様な主体とより連携し、つながりや支えあいづくりを推進します。

#### 【取組事項】

- ① 区内の「ちょこボラ」(住民同士の助け合い)活動団体の立ち上げを支援し、団体同士 の連携体制を進め、担い手育成や地域での見守り体制を広げます。
- ② 区・包括カンファレンス等への参画をもとに、個別・地域課題の継続的な把握を行いながら課題を抱えた住民と地域とのつながりづくりを進めます。
- ③ 新しい生活様式を取り入れた新たな見守り活動や交流を提案します。
- ④ 個別ニーズや地域課題について関係機関と協働して地域での生活を支える仕組みづく

りを進めます。

# (2)生活支援体制整備事業

200 千円 [200 千円]

高齢者の生活支援・介護予防の充実のため、区、地域ケアプラザ、地区社協、自治会 町内会、ボランティア団体、施設や企業など、多様な団体との連携により、担い手の発 掘と育成や新たな活動を創出し、地域包括ケアシステム構築に向け取組みます。

#### 【取組事項】

- ① 地域活動に取組む団体等を対象とする研修会の実施
- ② 区と協働して区レベル協議体(支えあいの仕組みづくりを進める会議)の開催や各地域ケアプラザの協議体の開催支援

第2層生活支援コーディネーター連絡会を開催し、各エリアの状況把握と全区的な取組課題を検討します。状況に応じてオンラインでの会議・研修を取り入れます。

- ③ 専門機関部会で立ち上がった地域貢献事業「泉サポートプロジェクト」が、企業やNPO法人等も含めて多様な主体の連携により、進められるよう支援します。
- ④ 「泉サポートプロジェクト」の拡充を目的に、企業・施設等への啓発を区、地域ケアプラザと共に行い、参画施設・企業数を増やし、社会貢献・地域貢献の活動を支援します。

評価指標 泉サポートプロジェクト参画施設・企業による活動数:増加

3 地域活動への参加が活発になる地域づくりを支援する

# 重点項目3-1 参加する人を増やす

《地域活動に参加するきっかけ作り》

(1) 地域情報や活動に関する情報発信

#### 【取組事項】

- ① 「区社協だより泉」の発行(年3回)
  - 地域住民が自分たちの暮らすまちに関心を持つきっかけとなるよう、地区社協やボランティア団体の活動、区社協の事業などの情報を発信します。タウン紙の活用や障害者地域作業所等への配付業務委託を行います。
- ② ボランティア向け情報「キラぼら泉」の発行(年3回) 地域で活動しているボランティアについて紹介し、ボランティア活動の促進につな げます。
- ③ 「ボランティアセンター通信かわら版」の発行(年2回) ボランティア講座やボランティア募集、ボランティア活動について掲載し、区内の ボランティア活動の活性化につなげます。
- ④ 「ボランティアセンター通信ジュニア版」の発行(年1回) 区内イベントでの学生向けボランティア情報を掲載し、学生ボランティアの拡充を 行います。
- ⑤ 区社協ホームページの活用

地域情報や活動に関する情報を広く発信できるよう、区社協ホームページを積極的に活用します。誰もが情報にアクセスしやすく、利用しやすいホームページ(ウェブアクセシビリティ)づくりをすすめます。また、施設やボランティア団体の活動紹介や講座・イベントの情報を掲載できる「地域イベント情報」の活用を本会会員向けに案内します。

- ⑥ 災害ボランティア通信の発行(年2回)
- ⑦ 泉区民ふれあいまつり等に参加し、区民への啓発活動
- ⑧ 善意銀行(寄付金品の受付、配分)の運営とパンフレットによる周知活動
- ⑨ 区社協リーフレットの活用

#### (2) 第35回泉区社会福祉大会の開催

福祉活動功労者に対する顕彰及び第4期地域福祉保健計画の周知

# 重点項目3-2 担い手を増やす

# 《活動を継続していくための支援》

## (1)活動継続のための支援

100千円 [100千円]

ボランティア活動継続のために各種情報提供や、ボランティア・団体間の交流やつながりを支援します。

## 【取組事項】

- ① ボランティアネットワーク運営委員会の開催
- ② ボランティアネットワーク各部会の開催
- ③ ボランティアフォーラムの開催

# (2) 泉区福祉保健活動拠点「泉ふれあいホーム」の運営 16,267 千円 [16,650 千円] 世代や障がいの有無に関わらず誰もが安心して利用する「場」を目指し、感染予防を図りながら運営していきます。また、より多くの住民に福祉保健活動に関心をもってもらうため、ボランティアセンターとボランティア講座を行うなど工夫しながら取組んでいきます。

〔指定管理期間: R3.4.1 ∼ R8.3.31〕

	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 見込
登録団体件数 (件)	243	250	240	242
利用実績(延べ件数)	2, 600	2, 139	1,000	2,000

# 【取組事項】

- ① 窓口や電話での問い合わせ、利用登録団体懇談会などを通じて利用者ニーズの把握に 努め、拠点やボランティアセンター運営に反映
- ② ホームページによる福祉保健活動拠点の情報発信、情報提供
- ③ 夜間及び十日祝の稼働率向上を目的とした広報活動の実施
- ④ ボランティア講座や研修会を実施し、人材発掘を推進

#### (3) 泉ふれあい助成金・福祉の泉助成金

11,914 千円[13,066 千円]

身近な地域の支えあい活動や障がい当事者活動、住民主体の活動を推進するため「泉ふれあい助成金」及び「福祉の泉助成金」を通じた活動支援を行います。

	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 見込
助成団体数 (件)	200	188	167	170

評価指標 ふれあい助成金交付事業の交付団体数・担い手数:継続

ふれあい助成金交付事業の参加者数:増加

# 《新たな担い手の発掘・育成》

#### (1) ボランティアセンターの運営

904千円 [904千円]

ボランティアや地域住民の活動に関する様々な相談に応じ、地域福祉活動を担う人材 確保・育成のため、テーマ別・対象別などのボランティア講座を移動情報センター等と 連携し実施します。

学生のボランティア活動への関心や参加を促進するため、中学生・高校生に向けた情報発信や講座の開催、相談、フォローアップを強化します。講座の情報発信や申込方法を様々な媒体で提供し、参加しやすい講座にします。

# 【取組事項】

- ① ボランティア講座の開催
  - ア 音声訳ボランティア養成講座
  - イ 学生のためのボランティア入門講座
  - ウ 関係機関等とのボランティア活動分野別、エリア別講座の開催
  - エ 「ちょこボラ」(住民同士の助け合い)の支援(再掲)
  - オ ガイドボランティア講座(再掲)
  - カ ボランティアフォローアップ講座
  - キ 傾聴ボランティア養成講座
  - ク ボランティア入門講座
  - ケ ボランティア担当者向け講座
  - コ 地域ケアプラザエリアでの人材発掘講座
- ② ボランティア相談の実施
  - ア ボランティア登録の相談・受付
  - イ ボランティア保険の受付

評価指標 各種ボランティア講座の実施回数・参加者数:増加

#### (2)担い手と地域活動のコーディネート

区民からの相談に対してボランティア団体、施設等のネットワーク機能を活かしニーズに合った活動を紹介します。また企業・NPO・学校等と地域との関係性を構築し地域活動への参加促進を支援します。障がいがある方への社会参加についても、関係機関と連携し支援していきます。

ネットワークや動画編集などが得意な担い手とボランティア団体をつなぎ、団体内の オンライン会議や「新しい生活様式」に則ったボランティア活動の支援を行います。

#### 【取組事項】

- ① ボランティア相談・コーディネートの実施、ボランティアの活動支援
- ② 登録者情報を得意分野や居住地等の分類別に検索可能に整理
- ③ 「人財バンク」の情報更新(区民活動支援センターとの協働事業)

# 重点項目3-3 つながる機会を作る

#### 《様々な人との交流の推進》

(1)地域の中でより多くの人との交流を進める

10千円[250千円]

#### 【取組事項】

- ① 泉ふれあいシールラリーを実施し、障害福祉サービス事業所の活動について地域に広く周知します。障がいのある人たちの活動場所に地域住民が足を運ぶきっかけとし、 障がいの理解へつなげます。
- ② ジュニアボランティア活動の機会(福祉イベント、共同募金街頭運動など)を提供

③ 介護フェア開催協力(主催:泉区老人福祉施設長研究会)

(2)福祉教育 139 千円[137 千円]

様々な分野のボランティア体験がおこなえるようサマースクールのプログラム内容を 充実して取組みます。また、区内の学校等に向け、福祉教育相談のPRを行い、学びが深 まる授業を共に検討していきます。

#### 【取組事項】

- ① 学校、企業、地域住民等を対象に、障がいや高齢者理解等の福祉教育(啓発)を実施
- ② 小中高生対象「サマースクール 2021」(福祉体験学習)の実施
- ③ 泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会や学校長会での情報提供、学校との 連携強化
- ④ 「福祉教育サポーター」(学校等での福祉教育研修・講座の支援ボランティア)の拡充・活動支援

評価指標 福祉教育の実施件数・参加者数:増加

サマースクール実施件数・参加者数:増加

# 《関係機関同士の連携強化》

# (1)子どもの支援

子どもの健やかな育ちの支援として、子育て中の孤立感の解消などを目的に地域における子どもの居場所づくりや子育てを応援します。

# 【取組事項】

- ① 子育てネットワークへの参加
  - ア 泉区子育て支援連絡会・子育てサークルリーダー研修会・子育てサロン連絡会の事務局として、区役所、子育て支援拠点すきっぷとともに子育て中の親子支援の検討、 研修会を実施します。
  - イ 地域ケアプラザエリアの子育てネットワークに参加し、エリア内の子育て課題の検 討、支援を行います。
- ② 子ども食堂や対象者を限定しないサロン等の居場所づくり支援 JA横浜、セブンイレブン等の企業と連携して食を通した地域づくりを進めます。
- ③ 区内関係機関との区内の子どもの状況についての情報共有 区役所やスクールソーシャルワーカー等と子どもの置かれている状況について情報 共有を進め、地域住民と協力しながら子どもの健やかな育ちを支援します。
- ④ 泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会や横浜市西部地域若者支援連絡会等 と連携し、個々の課題をもつ子ども・若者支援の地域理解を広めます。

# (**2**) 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーターの支援 90 千円[88 千円]

地域住民の福祉活動を支援する地域活動交流コーディネーターを支援するため、連絡会を開催し、研修会や勉強会等を行います。状況に応じてオンラインでの会議・研修を取り入れます。

#### (3) 泉区障害福祉自立支援協議会への参画

障がい者や家族が安心して暮らすことができるよう部会、委員会で課題解決に向け検 討を進めます。また、支援職員のスキルアップを図るため研修会等の開催を支援します。

# (4) その他

本会の持つ強みである、会員組織としてのネットワークを活かし、関係団体・機関の 連携を促進します。

# 4 社会福祉協議会活動・法人運営

# (1)「第4期 泉区地域福祉保健計画」策定と推進に向けた取り組みの検討

区役所との共同事務局による第4期計画策定及び推進を行い、地区別計画では地域支援チームを中心とした関係機関と連携し推進していきます。

計画周知のため、12地区別計画と活動の PR 動画を作成します。

## (2) 社会福祉法人支援

社会福祉法人の公益性、組織管理・財務規律の強化などが進められていますが、本会会員である社会福祉法人・施設の取組を引き続き支援します。また、本会専門機関部会が立ち上げた「泉サポートプロジェクト」の取組を支援します。

# (3) 公益性の高い社会福祉法人としての、適切な組織運営

- ① 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催
- ② 各種部会、分科会の開催
- ③ 各種委員会の開催

ア ボランティアセンター運営委員会 イ 広報編集委員会 ウ 助成金配分審査委員会

- ④ 計画的で透明性の高い業務執行、法律や規程に基づいた適切な事務・経理処理
- ⑤ 会員及び賛助会員の募集と会費の有効活用
- ⑥ BCP (災害時の業務継続計画)の適宜、見直し

#### (4) たすけあい福祉資金給付(火災等の罹災者への見舞金)

#### (5) 行路病人への支援(行き倒れや行き場のない方への緊急措置として一時金の支給)

# (6) 関係機関の事務局機能

地域で活動する各種福祉団体の事務局を担い、活動を支援します。また、各団体の活動を広報し、理解啓発に努めます。

- ①神奈川県共同募金会泉区支会
- ②日本赤十字社神奈川県支部泉区地区委員会
- ③泉保護司会
- ④泉区更生保護女性会
- ⑤泉区更生保護協会
- ⑥泉区遺族会